

平成27年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 「干拓の歴史と機場の役割」七区小学校出前事業

団体名 NPO法人 美しい田園21 中国四国支部 担当者名 古谷 義弘

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

日 時： 平成27年10月5日（月）9：00～12：00

場 所： 児島湾七区干拓地及び機場周辺（4箇所）

参加対象者：七区小学校4年生

人 数： 25人

内 容： 「地域の農業施設等を見学し、干拓の歴史を学び、自分たちが住んでいる七区干拓地の知識を深める」総合学習への支援活動

（七区干拓地内にある4箇所の施設を見学しながら、干拓地の歴史と干拓地をつくる方法（過程）及び機場の果たす機能や役割について、わかり易く作成した配布資料やパネルを活用して説明を実施）・・・別添「取りまとめ資料」参照

<NPOでの対応>

- ・七区小学校との事前打ち合わせ（3回）
- ・協催メンバーとの合同打ち合わせ（2回）
- ・協催メンバーとの現地4箇所事前確認及び打ち合わせ（1回）
- ・わかり易い説明資料の検討・原稿改定（過去資料の改定）
- ・説明パネルの検討（2回）
- ・説明用配布資料の作成（カラーコピー）：45部（参加者+小学校関係者+協催メンバー）
- ・説明用配布資料の小学校等事前届
- ・説明場所へのパネル等運搬、4箇所への移動及び説明
- ・終了後の全体打ち合わせ（1回）

<事業実施状況写真>



【出発前の先生の説明】



【七区用排水機場での除塵機運転説明】

4. 今後の課題と展望

課 題： 「地域の農業施設等を見学し、干拓の歴史を学び、自分たちが住んでいる七区干拓地の知識を深める」小学校の総合学習への支援活動であり、当該事業は継続して取り組む必要がある活動と考えている。

この取組活動を継続していくための課題としては、会員からの会費により運営している団体で、非常に財政が厳しい状況にあり、引き続きの助成金を要望します。

展 望： 当該事業の継続実施とともに、子供達へのわかりやすい資料づくりを行うことによって理解度を高めていくなど事業の充実を図っていきたいと考えている。

児島湾七区小学校の4年生に出前授業（平成27年度）

岡山市立七区小学校4年生25名を対象にした「地域の農業施設を見学し、干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区について知識を深める」総合学習に、児島湾七区土地改良区、県土連、岡山市、NPO 美しい田園21が協賛して、平成27年10月5日(月)に出前授業を実施しました。この授業の説明は、本NPOの会員から、国営児島湾周辺土地改良事業実施時に在職した会員が担当して、資料作成や当日の説明を行いました。

本出前授業も今年度で9年目を迎えましたが、最近では、干拓地に住んでいる児童の半数は非農家で地域の農業施設の果たす役割など学ぶ機会はなく、本学習の果たす役割はとっても重要との先生からの説明でした。

朝9時、秋晴れのもと校門の前に児童が整列し、担任の先生から本日の学習の目的や注意事項を、また、七区土地改良区理事長から農業の歴史と昔の苦労話の説明を聞き、児童たちは元気よくバスに乗り込みました。

NPOは、七区用排水機場・七区幹線用水路・旧干拓堤防跡地・七区排水機場等の施設の役割と干拓の歴史について、NPOが作成したわかりやすい説明資料「私たちの七区」や「パネル」を使い説明しました。また、七区土地改良区理事長からは、七区の農地で生産される作物(米・千両なす・レンコン)や生産高とともに、排水機場では大雨や台風時に24時間運転で排水し、地域を浸水から守っているとの説明があり、また、ポンプや除塵機を実際に動かして見せ、児童たちは、それぞれの施設の果たす役割を聞き、施設の違いにも感心するとともに、地域にとってとっても大切な施設であることを再認識していました。

また、江戸時代から行われてきた干拓の歴史を学び、干拓地を守るための施設を土地改良区の方々が一生懸命管理し地域を守っていることを知らない子供達が学ぶ、本出前授業の継続実施の必要性を痛感しました。

最後に、NPOから「児島湖の環境をみんなで良くしてきれいな児島湖を守ろう」と呼びかけ、家に帰ったら今日学んだことを教えてあげようと児童にお願いしたところ、「わかりました」と元気な返事が返ってきました。

なお、本出前授業の「岡山ESDプロジェクト重点取組活動」としての継続取組の重要性を再確認しました。



出発前の先生の説明



七区用排水機場での除塵機運転説明



七区排水機場内でのポンプの説明



旧干拓堤防での堤防の歴史の説明